

panda 版日医標準レセプトソフト接続障害について

2024年3月1日に発生した panda 版日医標準レセプトソフトの接続障害についてご報告いたします。

日医標準レセプトソフトオンプレ版をご利用の医療機関の皆様、サポート事業所の皆様、連携システムベンダーの皆様に、ご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。
本書にて障害内容と経緯・原因、今後の対応について報告させていただきます。

【障害発生日時】

2024年3月1日 9時12分発覚

【障害内容】

panda 版日医標準レセプトソフトへ接続するためのクライアントソフト、ORCAMO クライアントの自動更新版において、「ランチャーの署名の検証に失敗しました」が表示され、サーバに接続できない現象が発生。

【発生原因】

ORCAMO クライアント自動更新版では起動時にセンターサーバへ通信をおこない、最新バージョンの確認をおこなっておりますが、ソフトウェアの署名切れにより最新バージョン確認の際、署名検証エラーとなり、クライアントソフトが起動できない状態でした。

※

通常、署名が切れている場合でもソフトウェアの実行に影響はありませんが、センターサーバとの通信で署名がおこなわれることを考慮していませんでした。

【処置】

署名を施した ORCAMO クライアントの最新バージョンを公開し、バージョン確認の際、署名検証エラーとならないよう対応。

【対応経緯】

2024年3月1日	
9時12分	ベンダーより「ランチャーの署名の検証に失敗しました」が表示され、panda版日医標準レセプトソフトに接続できない現象報告があり、調査開始
9時35分	現象を確認。暫定対応方法について確認
10時6分	下記暫定対応をアナウンス ・署名検証を無効化して起動 ・バイナリアーカイブ版を利用
12時54分	Web ページへの掲載およびアナウンス
17時33分	署名を施した ORCAMO クライアントを公開しアナウンス
18時21分	暫定対応により変更した設定についての対応をアナウンス

【今後の対応】

署名が切れることによる影響範囲を正しく確認し、署名切れが発生する前に署名を施すよう、再発防止に向け、署名対応を強化します。